

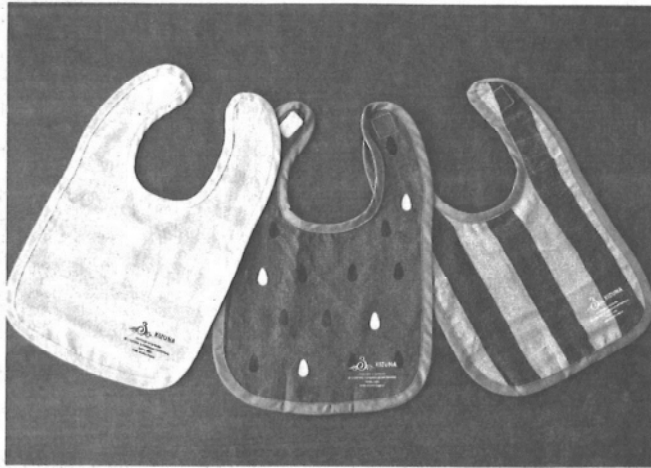
# 徳島新聞

平成28年7月21日(木) 朝刊

徳島発祥の地域密着型育児情報誌「ワイヤーママ」を発行するワイヤーオレンジ(徳島市)が、カンボジアの伝統布・クロマーをスタイ(よだれかけ)に商品化した。綿

100%で肌触りが良く、丈夫で吸水性もあるのが特長。現地で製造した商品を買取することで、貧困に苦しむ人たちの支援にもつなげる。

## カンボジアの伝統布・クロマー



カンボジアの伝統布・クロマーで作ったスタイ

ワイヤーオレンジ(徳島市)

# スタイに商品化

## フェアトレード 経済支援図る

クロマーはカンボジアの伝統的な縫製技術で作られた万能布で、現地ではストールや帽子として使われている。赤ちゃんの肌に優しく、丈夫で繰り返し洗濯できるため、清潔感を保てるという。

た際、クロマーを知った。同時に貧富の差が大きい村の現状を目の当たりにし、クロマーを生かした支援を模索。現地で製造した商品を適正価格で買取るフェアトレードを通じ、雇用の創出や自立支援などにつなげることにした。

創刊15周年記念事業「KIZUNAプロジェクト」と銘打ち、今後もカンボジア支援を継続していく。同社は「織りむら、色むらもあるが、それも手織りの味わいとぬくもりと思って楽しんでほしい」とPRしている。

スタイは3枚組999円(税込)。第1弾として千セツトを作り、専用サイト<<http://cambodia.wire.co.jp/>>で販売している。送料無料。

クロマーをアレンジしたスタイ(縦35センチ、横22センチ)は淡いピンクと白のボーダー柄のほか、スイカの表面と断面を模した2種類がある。首都プノンペンから南西100キロにあるサラム村の女性が身近な植物や果実で染色し、一つ一つ手織りで仕上げている。

同社の原田剛社長が2013年にカンボジアを訪れ

(大塚康代)